



株式会社日本レーザー

所在地：東京都新宿区西早稲田2-14-1 創業：1968年
 資本金：3,000万円 従業員数：48人 事業概要：輸入商社（レーザー専門）

- 経営悪化状態で大量退職が発端となり、女性、高齢者、外国人など求人像の幅を広げ人員を補強。
- 在宅勤務制度、70才まで働ける雇用制度、国籍・学歴。年齢・性別にとらわれない評価制度の導入。離職率ほぼゼロを達成し、23年連続黒字を達成。

（きつかけ）
 取り組み前

経営破綻から再建に向けた対応

- ✓ 債務超過で経営破綻寸前まで陥り、主力となっていた社員も商権も失ったため、再建のために新規顧客開拓による売上拡大が経営課題であった。
- ✓ そのため、現社員の雇用を守るだけでなく、社員を補充する必要が発生。大手民間就職支援サービスを利用できる資金がなく、公的職業紹介所に依頼。結果、リストラされた中高年、結婚退職女性、海外からの帰国組、外国人、障がい者など、従来多くの日本企業では就労機会が限られてた人からの応募が多く、彼らを採用。

取り組み後（効果）

制約があっても能力を活かし、伸ばせる会社

- ✓ 就業規則を柔軟に見直すなど雇用を守るための環境整備及び属性に関係ない能力評価を導入し、社員の努力に報いる仕組みを構築。結果、社員が自身の能力を開発し、高い語学力や技術力を活かした社員が活躍することで、同業他社にはない競争力がつき、23年連続の黒字を達成。
- ✓ パート社員を含めて女性は全社員の3分の1、女性の管理職は30%以上となり、働く女性のロールモデルとなっている。

離職率ゼロを実現

- ✓ 10年以上離職率はほぼゼロであり、第一子妊娠の女性社員、新卒新入社員の3年以内の離職率もゼロである。



同社HPより

取り組み内容や仕組み

多様な人材が働き続けられる処遇体系・人事制度を徹底

- ✓ 能力主義、成果・貢献度主義により、女性、高齢者、外国人等これまで就労を続けにくかった層にもフェアな処遇を施すことで、モチベーションの向上、定着率向上を図る。
- ✓ 介護や育児、病気療養が必要な社員のために、短時間勤務制度や在宅勤務制度も導入。また、心身が健康で業績に貢献できる限り、誰でも70歳まで働ける雇用制度を導入。
- ✓ 従業員の急な休みに備え、1人が複数の業務をこなす「マルチタスク化」や1つの業務を二人で担当する「ダブルサイン化」などを実施。
- ✓ 社員が自分のライフスタイルに応じた雇用契約を選び、どんな雇用契約でもキャリアアップを目指す制度を実現。

経営者の経営理念の浸透、社員の意欲・能力の向上

- ✓ 「今週の気付き」として、毎週金曜日に一週間を振り返り、気付きを上司にメールで報告し（CCに社長）、上司がフィードバックする制度を導入。
- ✓ 基礎能力評価を行い、「英語力」、「PC・IT力」、「対人・態度能力」のそれぞれに月額の手当（最高ランクには月々2.5万円及び2万円など）を支給。
- ✓ 社長が講師を務める「社長塾」を毎週実施。